

中道改革連合

発足!

前衆議院議員

山岸一生

やまぎし いっせい

1981年生まれ、44歳。
東京大学卒。朝日新聞
記者として政治部、沖縄
などを取材。2021年初
当選、2024年2期連続
当選。国会では内閣委
員会などで活動。趣味
はサウナ。家族は妻と母。
石神井町在住。

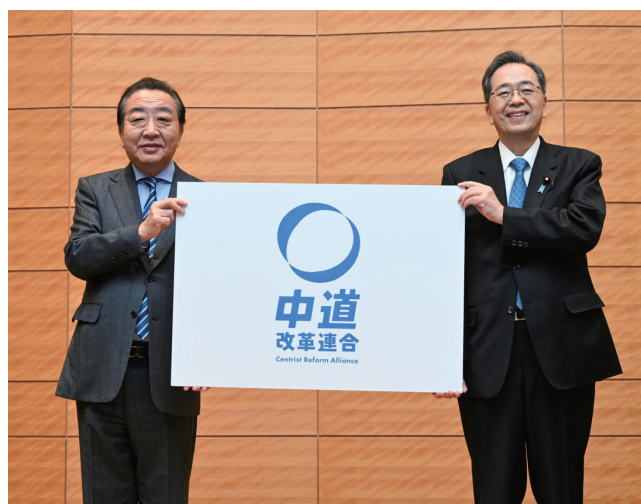
2期5年目
44歳

生活者ファースト!

「はたらきもの」を豊かに

食品消費税ゼロ 「インフレ増税」ストップ

練馬から
国会を
変えろ



1月16日、立憲民主党と公明党は新党「中道改革連合」を結成しました。立憲民主党の山岸一生さんは、中道改革連合に参加することを決めました。

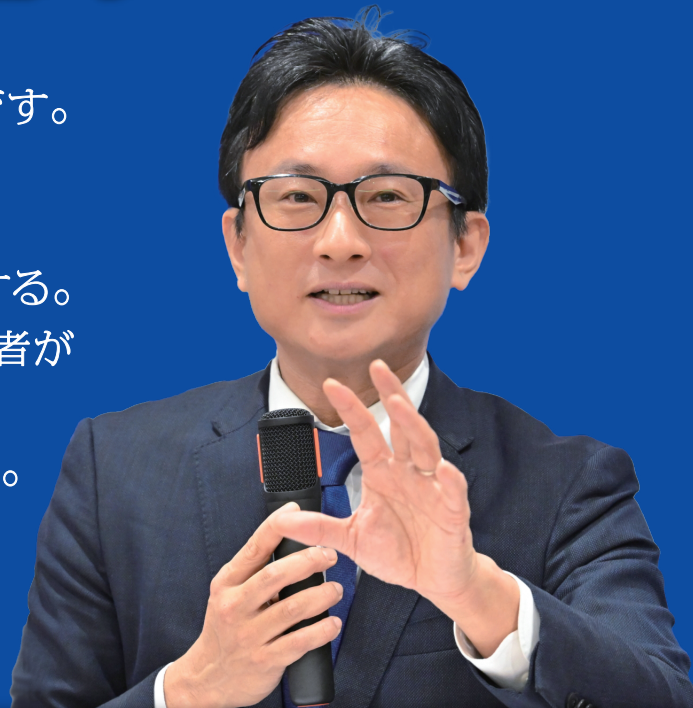
新党結成にあたり、野田代表は「右にも左にも偏らず、熟議を通じて解を導く姿勢を大切に、国やイデオロギーではなく人間中心主義と人間の尊厳を重視する理念に賛同する人が集う党

にしたい」と述べた。斉藤代表も、分断と対立が続く国際社会の中で、国際協調と近隣諸国との対話を重視し、日本の経済の安定と平和を守る姿勢こそ中道だと強調した。

生活者ファースト! くらしを真ん中へ

山岸一生のめざすもの

中道改革連合は、新しい「うつわ」です。
どんな「たましい」を込めるか。
山岸一生は、ぶれません。
駅に立ち、街を歩き、現場をお訪ねする。
一人ひとりの「はたらきもの」と生活者が
豊かになる経済を作る。
平和、人権、ルールを守る外交を貫く。
今こそ原点へ。
まっとうな政治を、練馬から。
あなたの力をお貸しください。



第1の柱

一人ひとりの幸福を実現する、
持続的な経済成長への政策転換

人への投資や生産性革命等を通じて、持続的賃上げを実現し、経済成長を分配へとつなげ、生活者の豊かな暮らしを実現する。

第2の柱

現役世代も安心できる
新たな社会保障モデルの構築

持続可能な経済成長を実現し、弱者を生まない社会を築くために、誰もが必要な支援にアクセスできるよう、教育・医療・介護などのベーシックサービスを充実させ、現役世代の負担に配慮した、持続可能な社会保障を実現する。

第3の柱

選択肢と可能性を広げる
包摂社会の実現

教育格差の是正、ジェンダー平等、多文化共生、気候変動対策を進め、誰もが自分らしく生きられる社会をつくる。

第4の柱

現実的な外交・防衛政策と
憲法改正論議の深化

憲法の平和主義に基づく専守防衛を基本に、日米同盟と平和外交を軸とした、国民の平和と安全を守る現実的な外交・防衛政策を進める。

第5の柱

不断の政治改革と選挙制度改革

政治への信頼を回復するため、政治資金の透明化を断行し、民意が正しく反映される選挙制度改革など、政治改革に取り組む。



RIKKEN
MINSHU
号外
練馬版
2026.1月

立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町
1-11-1 三宅坂ビル7F
TEL. 03-3595-9988
FAX. 03-3595-9088
goiken@cdp-japan.net
<http://cdp-japan.jp/>

前衆議院議員、
山岸一生さんの
政策を紹介します。

立憲民主
RIKKEN MINSHU

東京9区(練馬区西部)

山岸一生
やまぎし いっせい

新党発足 特集号

山岸一生 公式・事務所
Webサイト・SNSリンク

